

家族の敵

シリーズ・家族

イサク家の悲劇(創世記27章)

- 相続をめぐるって繰り広げられた愛憎劇
- イサクの双子の息子エサウとヤコブ
- 母リベカが弟ヤコブを好んでいた
- イサクが遺言を言い渡す時、リベカはヤコブにエサウの変装をさせ、まんまと相続権をだましとった
- エサウはヤコブを憎み、父の死を待って殺そうと考えた

家族の役割

- 神の祝福にあずかる
 - 神の祝福は人と人との関係に宿る
- 存在価値を確認する
 - 無条件で受け入れられ、喜ばれる
- 人間として成長する
 - 愛することと愛されることを学ぶ

家族の敵:内

- **愛の歪み・不足(罪)**
 - 人間は愛されていることを感じにくい、疎外感や差別感に対してはとても敏感である
- **比較**
 - 他人との比較は自分自身がすること 家族はそのまま受け入れ、認め、愛する
- **見栄・世間体**
 - 人並みであることに何も意味はない

家族の敵: 外

- 富

- 貧しければ分け合おうが豊かだと奪い合う

- 現代社会

- 家族の絆を破壊する: 特に父親
- 家族の価値や役割を軽んじる

- 文化

- 個人の絶対的な価値よりも役割を重んじる日本の文化

家族を守れ！

- 家族を一番にすること
 - 家族は社会にも個人に優先する
- 家族の絆を強くすること
 - 兄弟の和解は神を礼拝することに優先
- 社会の価値観を家族に持ち込まない
- 防護壁(祈りのフェンス)としての教会

身を慎んで目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。信仰にしっかり踏みとどまって、悪魔に抵抗しなさい。あなたがたと信仰を同じくする兄弟たちも、この世で同じ苦しみに遭っているのです。それはあなたがたも知っているとおりにです。〈1ペトロ 5:8-9〉